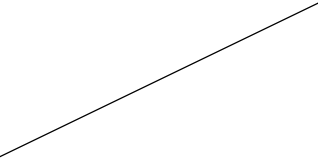


<p>研究力向上セミナー(電気電子系) (Seminar of Electronics and Electrical Engineering Skills)</p>	<p>1 年・後期・2 単位・必修 システム創成工学専攻 電気電子システムコース 担当 小野 俊介</p>	
	<p>〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-1 (80%), D-1 (20%)</p>	<p>〔JABEE 基準〕 f, d-2b</p>
<p>〔教育方法等〕</p> <p>概要： 受講生間でプレゼンテーションの技術を共有、磨くと共に、同級生の研究テーマに興味を持ち、さまざまな研究の動機、研究／実験手法を知ることにより、特別研究に対する視野を広げ、自己の研究の進め方に反映させる。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 受講生は、発表、司会、記録を各 2 回ずつ担当する。聴講時には積極的に質問し、討論に参加することで、プレゼンテーションを構成する基本的な役割を一通り体験する。</p> <p>注意点： 関連科目 特別研究、専門科目全般 学習指針 聞き手にいかに分かりやすく研究内容を伝えるか、いつも念頭においておく必要がある。 自己学習</p>		
<p>〔教科書〕 特に定めない、配布プリントを使用する</p> <p>〔補助教材・参考書〕 諏訪邦夫、“発表の技法”、(講談社ブルーバックス、B1099)、講談社、1995 作山宗久、“ブラッシュアッププレゼンテーションの技法”、TBS ブリタニカ、1998 海保博之、“説明と説得のためのプレゼンテーション”、共立出版、1995</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>○質問者との的確な質疑応答による意思疎通ができる。 ○研究テーマの背景・意義を、平易な言葉で説明できる ○研究論文レジュメ執筆の基礎を修得する。 ○計画的に発表準備作業を進めることができる。 ○プレゼンテーション技能の基礎を修得する。</p>		
<p>〔評価割合〕</p> <p>発表 (60%) + 聴講回数 (20%) + 司会・記録 (20%)</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己 評価*
後 期	1 週	オリエンテーション	オリエンテーション、発表スケジュール配布などを行う	
	2 週	発表技法	良い発表とは何かについて理解し、研究発表の具体的手法を説明できる。	
	3 週	1 年生発表 (1)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	4 週	1 年生発表 (2)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	5 週	1 年生発表 (3)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	6 週	1 年生発表 (4)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	7 週	1 年生発表 (5)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	8 週	1 年生発表 (6)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	9 週	1 年生発表 (7)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	10 週	1 年生発表 (8)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	11 週	1 年生発表 (9)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	12 週	1 年生発表 (10)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	13 週	1 年生発表 (11)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	14 週	1 年生発表 (12)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	
	15 週	1 年生発表 (13)	工学基礎研究関連の発表を行う。 (司会進行・記録も学生が行う)	

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった。